

瀬戸内海の絶景も楽しむことができる—いずれも岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓で



化粧水、乳液に使用、販売



園内産のオリーブを使った化粧品などが並ぶ「牛窓オリーブショップ」

松本店主は「瀬戸内の島々とオリーブの木が一緒に見えるのもいい。自然に囲まれに来てくれれば」と話している。

ベンチが並ぶ山頂広場や展望台から瀬戸内海を望むと、いくつもの島が点々と並んでいる。展望台からは天気が良ければ瀬戸大橋も見ることができそう。

2000本栽培眼下に多島美

牛窓オリーブ園

岡山県瀬戸内市



順調に育っているオリーブの実

園の開設は第二次世界大戦中の1942年。県内多数の商家で農地経営もしていた故服部和一郎氏が「栄養があり薬用にも使えて、灯火にもなる」と考え、香川県の小豆島からオリーブの苗木を譲り受けて植樹したのが始まりだ。49年には、オリーブ使用の化粧品を販売する「日本オリーブ」を設立し、現在まで続く。

園内には自由歩き回ることができ、所要時間30分ほどの散策コースが設けられている。歩いてみると間もなくオリーブ畑が見えてきた。小道の両脇には深緑色の葉を付けた木々が並ぶ。収穫期は

園内は自由歩き回ることができ、所要時間30分ほどの散策コースが設けられている。歩いてみると間もなくオリーブ畑が見えてきた。小道の両脇には深緑色の葉を付けた木々が並ぶ。収穫期は

園内は自由歩き回ることができ、所要時間30分ほどの散策コースが設けられている。歩いてみると間もなくオリーブ畑が見えてきた。小道の両脇には深緑色の葉を付けた木々が並ぶ。収穫期は



恋人の聖地にも認定されている「幸福の鐘」

展望台1階にある「牛窓オリーブショップ」の松本充貴店長(26)によると、園の広さは約10畝で東京ドーム2個分に相当する。約2000本のオリーブが植樹されていて、現在も少しずつ増えているという。

JR 邑久駅から車で15分ほど。牛窓オリーブ園の営業時間は、6～8月は午前9時～午後6時半。それ以外は午前9時～午後5時。年中無休。問い合わせは牛窓オリーブショップ(0869・34・2370)。

